

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 1 区分
【発行日】平成 18 年 7 月 27 日 (2006.7.27)

【公開番号】特開 2005-332709 (P2005-332709A)
【公開日】平成 17 年 12 月 2 日 (2005.12.2)
【年通号数】公開・登録公報 2005-047
【出願番号】特願 2004-150502 (P2004-150502)
【国際特許分類】

H 0 5 F 3/02 (2006.01)

【 F I 】

H 0 5 F 3/02 A

【手続補正書】
【提出日】平成 18 年 6 月 9 日 (2006.6.9)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 1 5
【補正方法】変更
【補正の内容】
【 0 0 1 5 】

(水、有機非イオン性化合物)

本発明における水は、イオン導電性化合物にイオン伝導性を発現させるためのものである。イオン伝導体 1 1 は、水とともに有機非イオン性化合物を含有していてもよい。

本発明における有機非イオン性化合物とは、水に可溶な有機非イオン性化合物である。有機非イオン性化合物は、導電性媒体としても有用であり、また、低温安定性を維持して水の結晶化やイオン導電性化合物の析出を防止し、イオン伝導性を安定に発現させる。該有機非イオン性化合物としては、低分子から高分子までの化合物が挙げられる。有機非イオン性化合物の水への溶解度は微溶以上であれば上限は問わない。

有機非イオン性化合物としては、例えば、低級アルコール類、多価アルコール類、エーテル基含有アルコール類、アミノ基含有アルコール類、エーテル類、ケトン類、アミド類、エステル類などが挙げられる。